

カメムシが多発しています！

☆カメムシの確実な防除を！

- ① 今年度は気温が高く、乾燥状態が続いていたため、カメムシの発生量が多いです。7月30日の予察で畦畔で**最大11頭、本田でも3頭を確認しています**(普及センター調べ)。

水田近くの雑草地等では、飛躍的にカメムシが増え、捕虫網20回振り
で数十頭捕獲されています。

小麦の収穫が行われ、水田に飛び込んできています。特に、風とおりの
悪い場所や畦草が繁茂している場所は、十分気をつけましょう。

- ② **カメムシ防除は出穂期～1週間から10日の防除が最も効果的です！**

今年は穂揃いに時間を要しているほ場も見られ、登熟後半までカメムシ
被害に遭う可能性があるため、予察を行って追加防除の実施を検討しまし
ょう。

表 水田でのすくい取りによるカメムシ追加防除基準

すくい取り時期	防除が必要なカメムシ数(20回振り)		
	ほしのゆめ	ななつぼし ゆめびりか きらら397	きたくりん
出穂10～12日後 (追加防除の2～3日前)	1頭以上	2頭以上	3頭以上

☆いもち病について

近々のブラスタム(葉いもち病発生予測システム)では7/19～20に滝川、
7/26～27にかけて滝川、芦別で感染好適条件を観測しています。

現在、まだ近隣地域でのいもち病の発生報告はありませんが、感染しやすい
気象条件であるため、「防除したから」と油断せず、今一度いもち病の発生が
ないか確認しましょう。

発生を確認したら、速やかに治療効果のある薬剤を散布しましょう。

農薬の適期散布と適正使用に努めよう！